

## 正誤表

『JAGAT DTP エキスパート認証試験スーパーカリキュラム第12版準拠』に以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

### 記

#### 76 ページ左下図「和文と欧文ベースラインを調整」

調整なしと調整ありの図が逆になっていました。下図に差し替えてください。

和文と欧文ベースラインを調整		頭揃え（左揃え）	
調整なし	和文の文字とEnglishは基準線の揃えが難しい。	和文中にEnglishで文字を組む混植では文字間のbalanceを保つために3～4分アキのspaceをとるとよい。字幅の異なる欧文文字などは行末が揃わなくなる。	
調整あり	和文の文字とEnglishは基準線の揃えが難しい。		
和文と欧文の間のアキを調整		ジャスティファイ	
アキなし	和文中にEnglishで文字を組む混植では文字間のbalanceを保つために3～4分アキのspaceをとるとよい。	和文中にEnglishで文字を組む混植では文字間のbalanceを保つために3～4分アキのspaceをとるとよい。字幅の異なる欧文文字などは行末が揃わなくなる。	
4分アキ	和文中にEnglishで文字を組む混植では文字間のbalanceを保つために3～4分アキのspaceをとるとよい。		
3分アキ	和文中にEnglishで文字を組む混植では文字間のbalanceを保つために3～4分アキのspaceをとるとよい。	ハイフンとダッシュ	
2分アキ	和文中にEnglishで文字を組む混植では文字間のbalanceを保つために3～4分アキのspaceをとるとよい。	ハイフンの高さ位置は中心から少し下がる……□□ ダッシュ高さ位置は中心にある……………□□	

和文フォントはセンターライン、欧文フォントはベースラインを基準にデザインされているために、調整なしの和欧混植では和文よりも欧文が少し上がって見えます。そこで同じ位置に見えるように、欧文を少し下げて調整します。